

最近の倉敷市の感染拡大事例

令和3年8月

事例の概要	対応策
① 感染拡大地域との往来による感染 ●感染拡大地域から帰省し、家族や友人との会食を通じて感染拡大 ●仕事やレジャーで感染拡大地域を訪問したことによる感染拡大	お盆や長期休暇の帰省、旅行など、<u>感染拡大地域との往来は避け</u>、移動後2週間は体調管理に気をつけ、体調不良時には医療機関を受診してください。
② 飲食・会食を通じた感染 ●連休や夏休みに、親族や友人との会食を通じて感染拡大 ●接待を伴う飲食店でクラスター発生	<u>屋外でのバーベキュー</u>などを含め、大人数での会食は避け、2時間以内でマスク会食を徹底してください。また、飲食の際には、感染対策が徹底されている飲食店等を利用してください。
③ 店舗の共用部分で感染 ●ドアノブや手すり、キッズスペース等、多くの人々がさわる場所で接触感染 ●不十分な換気による感染拡大	利用者は、共用部分にさわった後の<u>手洗いや手指消毒を徹底</u>してください。 また、店舗側では、<u>共用部分のこまめな消毒や換気等</u>を行ってください。
④ 職場内で感染 ●体調が悪いにも関わらず出勤し、事業所内で感染拡大 ●県外の関連企業等からの従業員受入れによる感染拡大 ●休憩室、更衣室で感染拡大	体調が悪い従業員の出勤を停止することや、県外から受入れた従業員の一定期間の待機、休憩室や更衣室等でのマスク着用と換気の徹底など、従業員が安心して仕事ができる環境整備に努めてください。
⑤ 30歳代以下の若い世代の感染が急増 ●デルタ株は感染力が強く、行動範囲の広い若い世代で感染が急増 ●市内でも、感染力の強いデルタ株へ置き換わっており、家庭内で10歳代以下の子どもにも感染が拡大	発熱時また発熱がなくても全身のだるさや咳、のどの痛み、下痢などいつもとは違う症状がある場合、<u>医療機関を受診し、通勤、通学、外出等を控えてください</u>。また、3密の回避や手指消毒、熱中症に注意しながら、家庭でもマスク着用を徹底してください。

ワクチン接種の推進とマスク着用の継続について

ワクチンには、感染症の発症や重症化を防ぐ高い有効性が認められています。ワクチン接種後も、マスク着用、3密の回避、手指消毒や、こまめな換気等、継続して感染予防に努めましょう！！